

# 実践生活文化科会

実践校会 生活文化科会 No.1  
生活文化学科同窓会 2017.03 発行

## 生活文化学科の歩み

生活文化学科は平成7年に設立され、これまで多くの卒業生を輩出してきました。現在の生活文化学科は「生活心理専攻」と「幼児保育専攻」の2専攻となり、少しずつ変化してまいりました。しかし、人の生活の営みを学びの基本としながら、自立した女性としての世の中に貢献できる人材を育成するという学科の理念は変わりません。学祖 下田歌子先生の「揺りかごを揺らす手こそが、社会を変革する力となる」のお言葉の下、「揺りかごを揺らす」ことの意味や価値を、そして人の生涯の発達を見通しながら、暮らしの豊かさとは何かを探索し続けています。生活文化学科で学んだことの大切さは、在学中以上に、社会で感じるが多いのではないのでしょうか。変化する生活文化学科、変化しない生活文化学科をぜひ卒業生の皆さまにも感じていただけたらと思います。

## 生活文化学科の歩み(後援会会報第95号より抜粋)

1995年(平成7年)	生活文化学科 開設
2005年(平成17年)	指定保育士養成施設の指定を受ける
2007年(平成19年)	生活文化専攻と幼児保育専攻の2専攻体制 ※幼児保育専攻は、幼稚園教員の教職課程の認定を受ける
2011年(平成23年)	幼児保育専攻が、小学校教員の教職課程の認定を受ける
2014年(平成26年)	生活文化専攻が生活心理専攻に変更
現在	生活心理専攻と幼児保育専攻の2専攻体制



↑ 集合写真

← パネルシアター同好会の公演

「うわ～楽しそう！ 行きたい！」知らせを受けた時そう思いました。しかし私が現在住んでいる所は京都。そして妊娠中でした。行くか迷いましたが、参加して本当によかったです。当日はお世話になった先生方とお会いでき、懐かしい友人たちと昔話を花を咲かせ、楽しい時間を過ごせました。子どもを連れた方もいらっやっだったので、また機会があれば今度は娘を連れて行きたいです。

**山下 由香理さん(旧姓 赤池)**

第13期生 (平成22年度/2011年卒:生活文化専攻)

生活文化科会誌第一号発行おめでとうございます。

平成28年2月に生活文化科会が発足してから、ちょうど1年になります。この度は、科会誌第一号発行の由、心よりお祝い申し上げます。また、科会発足から科会誌発行まで、仕事や子育て等で大変お忙しい中、貴重な時間を割いて準備を進めて下さった北村はるか会長をはじめ、幹事の皆さんに深く感謝いたします。

私自身は、2年間に亘り学科主任を務めてまいりましたが、この3月でお役御免となります。この2年間にはいろいろなお知らせがありましたが、科会の誕生は、学科にとって大変嬉しい出来事でした。これからも科会の先輩諸姉に見守っていただきながら、後輩の学生の皆さんの教育に尽力したいと思います。折にふれて、ご紹介ご協力のほど、お願い申し上げます。

(H28年度学科主任松田純子先生より)

## H27年度 同窓会の様子

### 第1回同窓会開催・同窓会組織の生活文化科会発足

1年と少し前になりますが、2016年2月28日 実践女子大学 日野キャンパスの桜ホールにて、「第1回生活文化学科同窓会」が開催されました。

当日は、約95名の卒業生とそのお子さま(0歳～小学3年生まで約15名)がご参加下さいました。また、日野永一先生をはじめ、須賀恭子先生、乙訓稔先生、原口純子先生、現在ご在籍の先生方も含め11名の先生方にご参加いただき、華やかに執り行われました。

また同年は生活文化学科開設20周年という節目の年ということもあり、この日 同窓会開催と併せ、同窓会組織として「生活文化科会」を発足いたしました。

会の中盤では、幼児保育専攻を擁する生活文化学科ならではの試みとして、お子さまにも楽しんでいただける様にと、幼児保育専攻の学生が主催する「パネルシアター同好会」の公演が行われました。

会場の前方に集まった小さなお客さまたちは、演目に目を輝かせ、一緒にリズムを取って手を動かしたり見入ったりと、楽しんでいただけた様子でした。

ここで、ご参加いただいた方々の中から一部、当日の感想をご紹介します。

### 一感想一

昨年度的生活文化学科同窓会では、懐かしの日野キャンパスにて、恩師の先生方、生文の卒業生の方々と交流するとてもよい時間を過ごすことができました。特に在学時にはあまり話をできなかった同級生と当時を思い返してお話できたり、同じゼミ卒業の先輩、後輩を紹介していただいたのは、学科全体の同窓会ならではの体験でした。

実行委員会の方々のおかげでとても貴重な体験ができました。また参加させていただきたいです。

**赤池 梨絵さん(旧姓 時田)**

第10期生 (平成19年度/2008年卒:生活文化学科)

## H28年度 同窓会の様子

2016年11月12日(土)「第2回生活文化学科 同窓会」が開催されました。

今回は卒業生7名とお子様(2名)と少人数での同窓会となりました。第2回同窓会の会場は日野駅から実践女子大学へ向かう坂の途中にある喫茶店「備前」にしました。こちらのお店は実践の学生達の中でも知る人ぞ知る？手作りのタルトが美味しいと評判のお店です。卒業生の皆さんの中にも、在学中に通った思い出のある方もいらっしゃるのではないのでしょうか。今回集まった7名でそれぞれのゼミの思い出や、先生との思い出に華を咲かせ、特に卒業生はみんなが通る道？とも言える、卒業論文を提出したときのそれぞれの様子を語り合うと、各学年、ゼミに色々なドラマがあるのだなあ(笑)と感じました。もっと色々な学年の卒業生のお話を聞きたいなと感じました。そんな楽しいおしゃべりの話題はいつのまにか、今回の会で準備された美味しいお料理に。店主の奥様に何うと、丁寧に作り方を教えて下さいました。更に、「昔は実践の学生さんがよくテスト勉強をするのに来てくれました」と実践の学生との思い出もお話して下さいました。次回は、備前でお料理教室なんていうのもできたら良いですね！奥様と7人でおしゃべりをして、今回の会は終了しました。



備前の奥様と一緒に

### 本間 洋子 先生ご退職

平成29年3月31日 生活文化学科教授 本間 洋子 先生がご退職されます。先生は平成20年4月に着任の後、子どもの保健、健康科学概論、小児医療センターへの実習等の科目を歴任されました。

また授業外でも、小児医療の現場でのご経験をもちに、数々のご指導をいただきました。

9年間、本当ありがとうございました。今後のご健康とますますのご活躍をお祈り申し上げます。

\* 先生のご意向で最終講義等は行われず、年度を明けた後、「本間先生を囲む会」の開催が予定されているようです。詳しい日程等については、決定次第Facebookページ等でお知らせいたします。

### 秋山 博介 先生ご逝去

平成28年5月11日 生活文化学科教授 秋山 博介 先生がご逝去されました。

先生は平成8年(1996年)4月に着任の後、社会福祉論、家庭支援論、相談援助等の科目を歴任され、スノーボードサークルの顧問を長くお勤めになりました。

実践女子大学では生活文化学科の歴史と共に歩んでいらした秋山先生。

授業中のお姿、普段の気さくなお人柄が今も深く心に残っております。

卒業生一同、謹んでご冥福をお祈りいたします。

## お知らせ

### ●H29年度 同窓会のお知らせ

日時: 平成29年9月9日(土)14:00(受付13:30)~16:00

会場: 都内 決まり次第ご連絡とサイトの更新をしております。

会費: 未定(3500円程度の予定)

・先生方の参加状況についても随時更新させていただきます。

・今回もお子さんのご参加OKです。

・なおご欠席を7月31日までに

こちらのサイトにてご連絡ください。

※大学でやってほしい！〇〇先生に会いたい！

こんなことやってほしい！などありましたらご連絡くださいませ。

※ご案内が届かない場合は、生活文化科会 [jj.seibun.og@gmail.com](mailto:jj.seibun.og@gmail.com) までお問合せください。



※ご連絡先等は、今後のお知らせ等に使用させていただきます。ご欠席の場合もご記入いただけたら幸いです。

### ●役員紹介

★会長 北村 はるか

現在音楽療法士です。2児の母になりました！

★副会長 坂本 志穂

H26 新設の現代生活学科で助手をしています。

★会計 足立 奈津絵

家庭科教諭取得

★広報 伊藤 智春

保育士・幼稚園教諭資格取得 現在 保育士

### ◎ご連絡先の変更・問い合わせはこちらへ

[jj.seibun.og@gmail.com](mailto:jj.seibun.og@gmail.com)

※個人情報、生活文化科会にて、慎重かつ厳重に管理致します。

※同窓会や科会のご案内が届かない

同窓生の方が多くいらっしゃいます。

ぜひご連絡先を科会までご連絡ください

実践生活文化科会 Facebook →



メールアドレスとFacebookで情報をお届け致します。